

2025年度 成果報告会

本拠点では、超耐熱性、耐水素性、耐疲労性、耐摩耗性など、多様な極限環境下で長期使用に耐え得る機能(「極限機能」)を備えた構造材料とその利用技術のデータ駆動型開発を、産官学のオールジャパン体制で推進します。そして、構造材料の長寿命化や新しい構造システムの高効率化に向けた、データ駆動型マテリアルの科学と工学の構築を目指します。本拠点は、我が国の構造材料研究の拠点として、デジタル・トランスフォーメーション(DX)の可能性を無限に拡げながら、世界の構造材料分野をリードしていきます。本報では、開始から4年の取組みで得た知見・成果と今後の方向性を皆様と共有し対話することで、日本のモノづくり力の加速的進化・発展につなげたいと考えております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



拠点長：
東北大学大学院工学研究科
教授 吉見享祐

日時 2026年 4月27日(月)
13:00~18:40 (開場12:30)

講演会場 一橋大学・一橋講堂 2階 一橋講堂
ポスター会場 同上 2階 中会議場3,4
住所 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1-2 学術総合センター-2F
参加費 無料(※事前申し込みをお願いします)

※参加申し込みは、こちらのQRコードから →



※一橋講堂アクセス QRコード

【プログラム】

開会挨拶（座長：及川 勝成 副拠点長 超耐熱材料プロジェクトメンバー、東北大学大学院 工学研究科 教授）			
13:00～13:10	拠点長挨拶	拠点長 超耐熱材料プロジェクトリーダー 東北大学大学院工学研究科 教授 吉見 享祐	
13:10～13:20	来賓挨拶	文部科学省 研究振興局（ナノテクノロジー・物質・材料担当） 参事官 服部 正 文部科学省 データ創出・活用型マテリアル 研究開発プロジェクト（DxMT） プログラム・ディレクター 栗原 和枝（東北大学 名誉教授）	
招待講演（座長：及川 勝成		同上	
13:20～14:10	Unifying Microstructure Analysis, Explainable AI, and Active Learning for Materials Innovation.	Pohang University of Science and Technology Prof. Hyoung Seop Kim	 
14:10～14:40	鉄鋼科学研究への期待 ～イノベーションを支え続ける構造材料であるために～	日本製鉄株式会社 フェロー 河野 佳織	
休憩			
拠点成果報告（座長：尾方 成信 理論計算グループリーダー、大阪大学大学院 基礎工学研究科 教授）			
15:00～15:20	デジタルツイン時代に向けたRISMEの挑戦	データ活用促進グループリーダー NIMS 技術開発・共用部門 部門長 出村 雅彦	 
15:20～15:40	自動自律探索システムが拓く構造材料の可能性	耐疲労表面硬化材料プロジェクトリーダー 東北大学 金属材料研究所 教授 宮本 吾郎	
15:40～16:00	材料組織を予測する： フェーズフィールドモデル×深層生成モデル×実験画像	超耐熱材料プロジェクトメンバー 名古屋大学大学院 工学研究科 准教授 塚田 祐貴	 
16:00～16:20	データ駆動型ハイスループット超耐熱合金開発に向けた 球形粒子製造の新展開	計測評価グループ サブリーダー 東北大学大学院 工学研究科 教授 野村 直之	
休憩			
ポスター成果発表会			
（耐水素脆化材料P、耐疲労表面硬化材料P、超耐熱材料P、および 計測評価G、理論計算G、データ活用促進Gのメンバーによる発表 40～50件を予定）			
16:40～18:40	※16:40～17:40、17:40～18:40 の2部制で実施		



← RISMEホームページQRコードはこちら
お問い合わせ先: secretariat@risme.org

RISMEの組織体制はこちらのQRコードから
ご覧ください →

